



た か は し ま さ し
工事部 **高橋 真嗣**

インタビューテーマ

夢

自 転車から始まり、オートバイ、車と、若いころからモータースポーツに挑戦してきた工事部の高橋真嗣さん。アクティブに活動し、本格的なラリー競技に出場した経験もある高橋さんに、レースへの想いや今後の夢について伺いました。

言ったほどです。そのため、親としてはできるだけサポートしてあげたいと思いました。

夢は自然の中で贅沢に時間を使う旅

今はまだタイムイング的に難しいのですが、いつか長期でのんびりと過ごせるような旅行をするのが夢です。国内外問わず、美しい自然がある場所を、何か月もかけてじっくり回ってみたいと思っています。観光地を忙しく回るような旅行ではなく、一つの場所をゆっくり見るような、そんな旅が理想です。山のきれいな空気が好きなので、今も休日にはオートバイで長野や群馬、埼玉の山へ走りに行っています。いつも日帰りなので、いつかたっぷり時間を取って、自然の中でリフレッシュしたいものです。

好きなことにはとことん打ち込む高橋さん。ラリーで優勝を果たしてしまっただけの集中力とパワーで、今後とも会社の発展に大いに貢献していくとでしょう。力強く歩み続ける高橋さんの姿から目が離せません。

Interview of the company newsletter

様々なレースに挑んだ青春時代

中学から高校まではサイクリングに熱中していました。近所の自転車屋さん連れて行ってもらったのがきっかけで乗り始め、その人に誘われてレースにも出るようになったのです。しかし、周囲のレベルがあまりにも高く、そこまで高い成績は残せませんでした。それでもサイクリングは好きだったので、自転車で関東を周遊し、一日で200キロメートルほど走ったこともあります。その後、18歳のころに友人の影響で自転車からオートバイに移行し、さらに20歳からは車のレースにも出場するようになりました。オートバイは22歳くらいで辞めてしまいましたが、ラリー競技は33歳まで続けていました。オートバイから車に興味移ったというわけではなく、オートバイも車もどちらも好きでしたが、両方続けるには金銭的に厳しく、やむなく車一本に絞ったのです。

車への興味が一気に燃え上がる

車のレースに興味を持ち始めたのは、自宅のそばに車を改造してくれる

挑戦する立場からサポーターする立場へ

カスタムショップがオープンしたのがきっかけです。小さいころから車が好きだったというのもあり、そこからあつという間に夢中になりました。ラリーへ出場するには、ドライバーの走りアシストするナビゲーターも必要です。そこで、高校時代の友人を誘いこんでたたくさんのレースに挑戦しました。国内最高峰のレースが全日本ラリー選手権なのですが、最終的にはその少し下のカテゴリーで優勝を果たしました。

私がラリーの一線から退いた理由は、子どものサポートに力を注ごうと思っただけです。モータースポーツはとにかくお金がかかります。ある程度のレベルまで上がると、相当な金額をマシンに投じなければ勝てなくなるのです。海外のレースにも挑戦してみたいのですが、現実はなかなか厳しいものでした。私の影響で、子どもがすでにレーシングカートに乗っていたので、自分はラリーで優勝も経験したことだし、あとは子どもに投資してあげたいと思い、卒業しようと思った。子どもも私に負けないくらい

健康第一で長く仕事を続けたい

実はこのところ、体を壊したりケガをしたりして長期で休むことが続いていたので、ケガや病気に気を付けていきたいと思っています。年齢的にだんだん体が動かなくなってきたるので、無理せず体を大事にしない

企業情報

設立年：平成6年5月27日
年商：2.8億円
従業員数：27名
(従業員19名、建設就労者4名、実習生4名)

※2021年3月時点

家族へのありがとう

自分を誰よりも心配し、支えてくれる家族。
今回は家族に感謝のメッセージを贈ります。みなさん、ハンカチの準備できていますか？



From こじま たかひろ
小島 孝博さん → To 家族みんな

どんなに疲れていても「おかえり」と妻や子どもたちに言ってもらえると、頑張った甲斐があったなと思います。

メッセージ
いつもありがとう。



From グエンヴァン カン
NGUYENVAN CANさん → To お母さん

私を産み育ててくれた人です。いつも世話をしてくれて、本当にありがとうございます。

メッセージ
ママ……あなたを愛しています。どうもありがとうございます！



From あらい しゅんすけ
新井 俊祐さん → To 他界した両親

たくさんの愛情を込めて育ててくれました。どんなときでも味方でいてくれて、側にいてくれたことを、自分が親になってから身に染みて感じました。

メッセージ
あなたたちが産んでくれたおかげで、最愛の妻と出会い、かけがえのない子どもたちが産まれました。全て、父と母が出会って紡いだ道の一端です。その一端で、私にも何より大切に尊い家族ができました。産んでくれて本当にありがとう。あなたたちが紡いできた道を、これからは私たちが引き継いでいきます。これからも笑顔で見守っていてね。



From もり たかひろ
森田 恭丞さん → To 妻

体調が良くならず、動けるときだけでも何か家庭の手伝いをしなければと思っていました。しかし、なかなか身体が動かず、そう思っているだけで何もできなかったと今回の社内報で考えさせられました。

メッセージ
身体の不調が続いたことを理由に、家のことが何もできなくてごめんなさい。恵もあまり体調が良くない中、仕事に、学校へ通う子どもたちの面倒、バスケの会長を担っていると考えると大変だと思いました。ありがとう。私も、動けるときは助け合おうと努力しますので頑張りましょう。



From ホアン マイン チュック
HOANGMANH CHUCさん → To 両親

私を産んでくれてありがとう。この世界がどれほど面白いかを教えてくれました。2人の子どもになってとても幸せです。

メッセージ
私は2人の子どもでいられてとても幸せです。



From レスアン ファン
LEXUAN PHANさん → To お父さん

日本での一人暮らしが寂しくなったとき、何度も困難を感じました。しかし、お父さんの応援のおかげでいつも乗り越えられました。

メッセージ
お父さんの期待に応えるため、前向きな気持ちで人生を送っていきます。父母に心配をかけることのないように早く結婚して、仕事も安定させます。

フォトコンテスト結果発表!

フォトコンテストで入賞したのはこちらの3名です!おめでとうございます!
気になる商品券の使い道は……?

第2位



グエンヒュウ ヒュー
NGUYENHUU HIEUさん



私のお気に入りの写真だったので、選ばれてとても嬉しく思っています!選んでくださった皆さん、ありがとうございます!商品券では服を買いたいと思っています。



第1位



みうら かな
三浦 佳奈さん



猫が嫌いな人はいないと思っていました。2022年の目標が読書なので、商品券を片手に新書を見に行こうと思います。



第2位



いいおか とみお
飯岡 富男さん



やったー!商品券はお酒に使います。

3月の誕生日社員

Happy Birthday

3月の誕生日の方です!
おめでとうございます!

3月26日 三浦 佳奈さん